

2023 年度 名古屋大学と東ミシガン大学とのオンライン 共同学習プロジェクト 参加者募集

1. プロジェクト概要

(1) 目的

名古屋大学の学生と東ミシガン大学の学生が、日米文化を比較し、異文化間の対人場面での共感性について学習することを目的として、オンラインでグループワークを行う共同学習プロジェクトを実施します。

(2) 構成

プロジェクトは、日米文化の比較を行うグループディスカッションと異文化間の対人場面での共感性に関するロールプレイの発表の2つの構成です。全5回のセッションへの参加は必須ですが、一部、参加できないセッションがある場合、事前にご相談下さい。すべてのプロジェクトは原則、英語で実施されますが、適宜、講師より日本語で補足説明します。プロジェクト参加者からの講師への問い合わせは日本語・英語で対応可能ですので安心してプロジェクトにご参加下さい。また、プロジェクトの前後、プロジェクト中にセッションの予習や振り返りを兼ねた課題を提出頂く予定です。

- ・ セッション①：2024年2月7日(水) 8:00～9:15(日本)／2月6日(火)18:00～19:15(米国)
教員より日米文化の共通点や相違点、異文化間の対人場面での共感性の重要性について説明を行います。その後、グループ毎に自己紹介をした後、日米文化の相違や異文化間の対人場面での対立・紛争事例について議論します。
- ・ セッション②：2024年2月14日(水) 8:00～9:15(日本)／2月13日(火)18:00～19:15(米国)
グループ毎に日米間の社会的な問題を議論します。また、異文化間の対人場面での対立・紛争事例で各登場人物がどのような感情で、何が原因で対立しているのかについて意見交換を行い、ロールプレイの発表準備をします。
- ・ セッション③：2024年2月21日(水) 8:00～9:15(日本)／2月20日(火)18:00～19:15(米国)
グループ毎に日米間のグローバルな問題を議論します。また、異文化間の対人場面での日米間の解決方法の違いを議論したり、他のプロジェクト参加者に対する質問を準備したり、スライドを作成したりするなど、ロールプレイの発表準備をします。
- ・ セッション④：2024年3月6日(水) 8:00～9:15(日本)／3月5日(火)18:00～19:15(米国)
各グループ 25 分を目安にロールプレイの発表を行います。他のプロジェクト参加者は、発表者の質問に回答したり、発表内容について議論したり、自身の経験を共有するなど、積極的にセッションに参加します。
- ・ セッション⑤：2024年3月13日(水) 7:00～8:15(日本)／3月12日(火)18:00～19:15(米国)
各グループ 25 分を目安にロールプレイの発表を行います。すべてのグループの発表が終了次第、学生及び教員で全体の振り返りを行います。

(3) 参加者

名古屋大学の学生約 15 名，東ミシガン大学の学生約 15 名が参加します。名大生と東ミシガン大学の学生各 2～3 名の合計 4～5 名で 1 グループとして，合計 5～6 グループでグループワークをします。

(4) 東ミシガン大学概要

1849 年創立。米国・ミシガン州南西部のイプシランティに立地。当初、地域の教員養成の大学として建てられ，教育プログラムが充実しています。現在，180 以上の専攻分野があります。本プロジェクトでは，東ミシガン大学の日本語専攻もしくは第二言語習得専攻の学生が中心となります。

参考 URL：<https://www.emich.edu/>

2. プロジェクト参加資格

- ・ 日本語を母語として話す者（日本語ネイティブであること）
- ・ 日米文化の比較や異文化間の対人場面での共感性の学習に興味を持つ者
- ・ すべてのセッションに参加できる者

※一部，参加できないセッションがある場合，事前にご相談下さい。

3. プロジェクト参加方法

- ・ プロジェクトの参加希望者は，説明会にご参加頂く必要がありますので，以下フォームに必要事項をご記入下さい。

<https://forms.gle/uUhgxKFkFFy2VxC4A> 回答締め切り：1 月 25 日(木) 12:00

- ・ 説明会を 1 月 23 日(火)，24 日(水)，25 日(木)のそれぞれ昼休み 12 時 05 分より Zoom（オンライン）で開催します。Zoom リンクは説明会前日夜に参加希望者にメールで送付します。15 分程度プロジェクトの趣旨・目的・概要を説明した上で，参加希望者から質問を受け付けます。
- ・ 説明会に参加し，十分にプロジェクトの趣旨・目的を理解した上でプロジェクト参加の是非を決定頂きます。
- ・ 体調不良や特段の事情により説明会に参加が困難な場合，個別面談可能ですのでメールで事前にご相談下さい。

4. プロジェクト参加に伴う報酬

本プロジェクトの名大生の役割はグループメンバーとして東ミシガン大学の学生とグループディスカッションやロールプレイの発表を牽引する役割を担います。そのため，活動実績に応じて，**最大 10 時間で 1 時間あたり，1,000 円の謝金を支給**します。謝金支給の手続きはプログラム参加決定後，説明します。

5. 問い合わせ先

本プロジェクトに質問がある場合，以下宛先までお問合せ下さい。

教育発達科学研究科 谷口紀仁 taniguchi.norihito.h5@f.mail.nagoya-u.ac.jp

以 上